

# 静岡県月例経済報告

(平成28年8月号)

……平成28年6月を中心とした県内経済のすがた……

No. 484

—静岡県経済産業部—

## 目 次

I 静岡県経済の概況 .....	1
II 静岡県主要経済指標の概況 .....	4
・ 需要面 .....	4
・ 生産面 .....	13
・ 雇用面 .....	15
・ その他 .....	18
III 静岡県主要産業の動向 .....	22
IV データからみた県内主要産業 .....	25

## 利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

# I 静岡県経済の概況

〔本稿は、平成28年6月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

## 概況

平成28年6月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復しつつあるが、弱い動きがみられる。

先行きについては、底堅い設備投資意欲などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産面での弱い動きと海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・個人消費は、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。
- ・設備投資は、持ち直している。
- ・輸出は、弱い動きとなっている。
- ・生産は、減少している。

## 需要面

### ◎個人消費は、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。

大型小売店販売額(6月)は、百貨店が4か月連続で前年実績を下回ったものの、スーパーが2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額では前年実績と同水準となった。

専門量販店等販売額(6月)は、ホームセンターが2か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店が2か月ぶり、ドラッグストアが15か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも12か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(6月)は、乗用車が3か月連続で前年実績を上回ったものの、軽自動車が18か月連続で前年実績を下回ったことから、総数でも2か月連続で前年実績を下回った。

### ◎住宅建設は、前年を下回った。

新設住宅着工戸数(6月)は、分譲住宅が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家が3か月連続、貸家が6か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を下回った。

### ◎公共投資は、前年を下回った。

公共工事請負金額(6月)は、2か月連続で前年実績を下回った。

### ◎設備投資は、持ち直している。

日銀短観(平成28年7月1日)の28年度設備投資計画は、製造業で増加、非製造業で減少する計画となっており、全産業では増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(6月)は、3か月連続で前年実績を下回った。

## ◎輸出は、弱い動きとなっている。

### 輸入は、前年を下回った。

科学光学機器が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、原動機が2か月連続、エアコンが6か月連続、自動車は14か月連続、自動車の部分品が11か月連続、二輪自動車類が3か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも4か月連続で前年実績を下回った。

また、輸入総額(6月)は、パルプや自動車の部分品などで前年実績を下回ったことから、全体でも7か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、851億円の輸出超過となった。

## 生産面

### ◎生産は、減少している。

鉱工業生産指数(5月)は、電気機械が4か月連続、化学が12か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械、食料品・たばこがいずれも4か月連続、輸送機械が15か月連続、パルプ・紙・紙加工品が3か月連続で前年水準を下回ったことから、総合でも6か月連続で前年を下回った。また、3か月ぶりに前月を下回った。

なお、鉱工業在庫指数(5月)は、総合では15か月連続で前年水準を上回った。

## 雇用面

### ◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率(6月)は1.34倍で、前月を0.01ポイント下回ったものの、29か月連続で1倍を上回った。また、2か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員(6月)は、35か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数(5月)は、前年を上回った。

## その他

### ◎金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った。

県内金融機関の貸出残高(6月)は、前年同月比2.5%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額(6月)は、前年同月比3.5%減と前年実績を下回った。

### ◎企業倒産は、件数、負債総額いずれも前年を上回った。

企業倒産(7月)は、件数は36件で前年同月比56.5%増、負債総額は前年同月比113.2%増となり、いずれも前年実績を上回った。

<<県の取組>>

【 ま・あ・る & WAZAチャレンジ教室の開催 】

県は、静岡市こどもクリエイティブタウンま・あ・ると共催で、ものづくり体験教室を開催しました。

これまで学校を中心に開催してきた「WAZAチャレンジ教室」を、民間の団体と共同で開催し、より多くの子ども達に、ものづくりの楽しさを知ってもらうための新たな取組です。

1 ものづくり体験教室の概要

日 時	平成28年8月15日(月) (1)午後1時～午後2時30分 (2)午後3時～午後4時30分	
会 場	静岡市こどもクリエイティブタウンま・あ・る (静岡市清水区辻1-2-1 えじりあ3・4階)	
製 作 物	オリジナルアートモザイク コースター	 <p>様々な色や形のタイルを組み合わせて、好みのデザインを考えることが、子ども達の自主性や創造性を引き出します。</p>
講 師	静岡県タイル煉瓦技能士会	
参加者数	47人	
参 加 者	小学校1年生～中学校1年生	
連 絡 先	○ま・あ・る事務局 TEL054-367-4320 ○県職業能力開発課 TEL090-2943-8977	

2 WAZAチャレンジ教室の概要

実施主体	静岡県	委託先	一般社団法人静岡県技能士会連合会
参加予定	小学生(5校計253人)、中学生(17校1,468人)、特別支援学校(15校計321人) その他124人の合計37校 2,166人を予定。		
技能指導	各職種の技能士を派遣し、児童・生徒に技術等の指導を行う。 ※技能士：労働者の技能水準を判定する国家検定制度(技能検定)に合格した者をいう。		
実施期間	平成28年5月10日～平成29年2月末		

<静岡市こどもクリエイティブタウンま・あ・る> 子ども達を対象に仕事体験やものづくり体験を通じて、自主性や創造性を育み、未来の地域産業を担う人材の育成を目的に、静岡市が運営

## II 静岡県主要経済指標の概況

### 需 要 面

#### 1 個人消費

##### (1) 大型小売店販売額

6 月 = 33,329百万円

\*前年同月比： 同水準

(県内3百貨店、131スーパー合計)

<概況>

6月の大型小売店販売額は33,329百万円で、前年同月と同水準となった。  
業態別にみると、百貨店（前年同月比 3.4%減）が4か月連続で前年実績を下回ったものの、スーパー（同 0.9%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総合では前年実績と同水準となった。

商品別では、身の回り品（同 2.3%減）、家庭用品（同 4.6%減）がいずれも4か月連続、飲食料品（同 0.1%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、衣料品（同 1.6%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.3%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
販売額（百万円）	33,803	42,800	37,052	32,077	34,394	32,936	34,074	33,329
前年同月比（%）	▲ 1.3	0.2	1.8	3.5	0.5	1.0	▲ 1.1	0.0
うち 百貨店（%）	▲ 3.9	▲ 1.5	▲ 0.8	2.0	▲ 1.4	▲ 2.5	▲ 5.1	▲ 3.4
スーパー（%）	▲ 0.6	0.7	2.5	3.8	1.1	1.9	▲ 0.1	0.9
(参考1) 全国前年同月比（%）	▲ 1.5	0.0	1.0	2.2	▲ 1.2	▲ 0.7	▲ 2.2	▲ 1.5
うち 百貨店（%）	▲ 2.6	0.3	▲ 1.5	0.5	▲ 2.8	▲ 3.6	▲ 4.8	▲ 3.6
スーパー（%）	▲ 0.9	▲ 0.2	2.4	3.1	▲ 0.3	0.8	▲ 0.8	▲ 0.4
(参考2) 県前年同月比（店舗数調整前）	▲ 2.6	▲ 0.4	2.4	4.8	0.5	0.1	▲ 1.3	0.3

(注) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
衣 料 品	▲ 8.0	▲ 5.2	▲ 1.2	2.2	▲ 2.8	1.8	▲ 4.9	1.6
うち 紳士服・洋品	▲ 9.0	▲ 7.8	▲ 2.1	5.9	1.5	4.5	2.7	6.2
婦人・子供服・洋品	▲ 7.7	▲ 3.6	▲ 1.6	0.0	▲ 4.7	0.9	▲ 7.5	▲ 0.5
身の回り品	▲ 6.6	▲ 2.0	1.1	0.2	▲ 3.6	▲ 4.9	▲ 5.7	▲ 2.3
飲 食 料 品	0.8	2.2	3.1	4.3	1.8	1.7	▲ 0.3	▲ 0.1
家 庭 用 品	▲ 0.1	0.3	6.4	6.8	▲ 5.7	▲ 11.2	▲ 3.8	▲ 4.6
うち家庭用電気機械器具	9.1	29.1	37.6	18.7	▲ 8.2	▲ 1.4	2.1	7.1

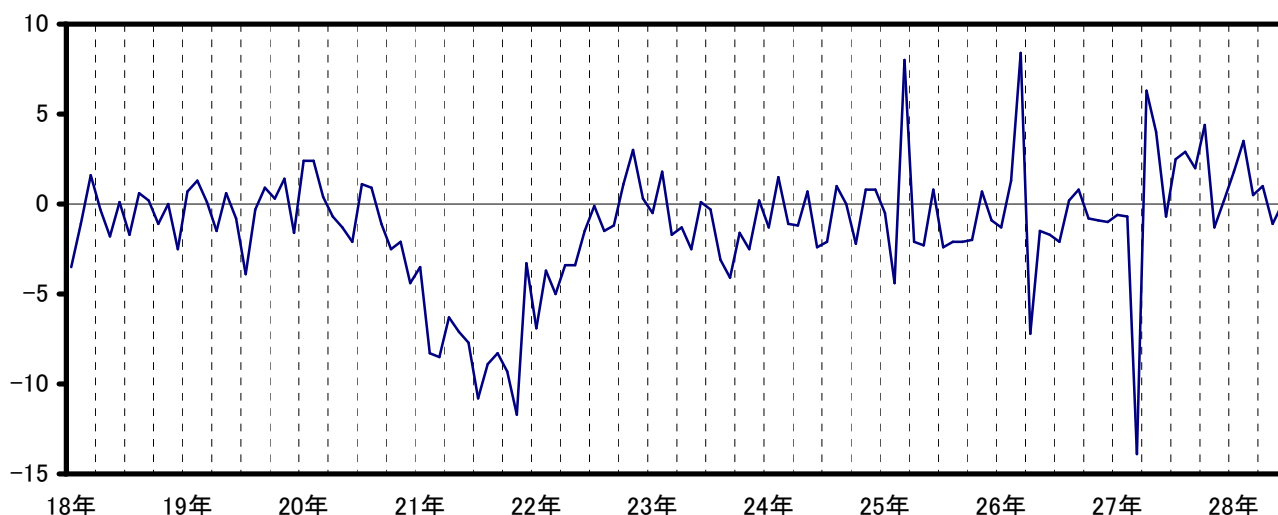
(注) 店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省



## (2) 百貨店販売額

6月 = 5,860百万円

\*前年同月比： 3.4%減

(県内3百貨店販売額)

### <概況>

6月の県内3百貨店の販売額は5,860百万円で、前年同月比 3.4%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。

品目別にみると、雑貨（前年同月比 5.2%増）が5か月連続で前年実績を上回ったものの、衣料品（同 5.3%減）が8か月連続、身の回り品（同 1.0%減）が5か月連続、家庭用品（同 15.6%減）が3か月連続、食料品（同 3.2%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
販売額（百万円）	6,563	9,026	6,971	5,540	6,827	5,726	5,788	5,860
前年同月比（%）	▲ 5.2	▲ 2.7	▲ 2.1	0.7	▲ 2.6	▲ 2.5	▲ 5.1	▲ 3.4
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 2.7	0.1	▲ 1.9	0.2	▲ 2.9	▲ 3.8	▲ 5.1	▲ 3.5

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会、日本百貨店協会

### <品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

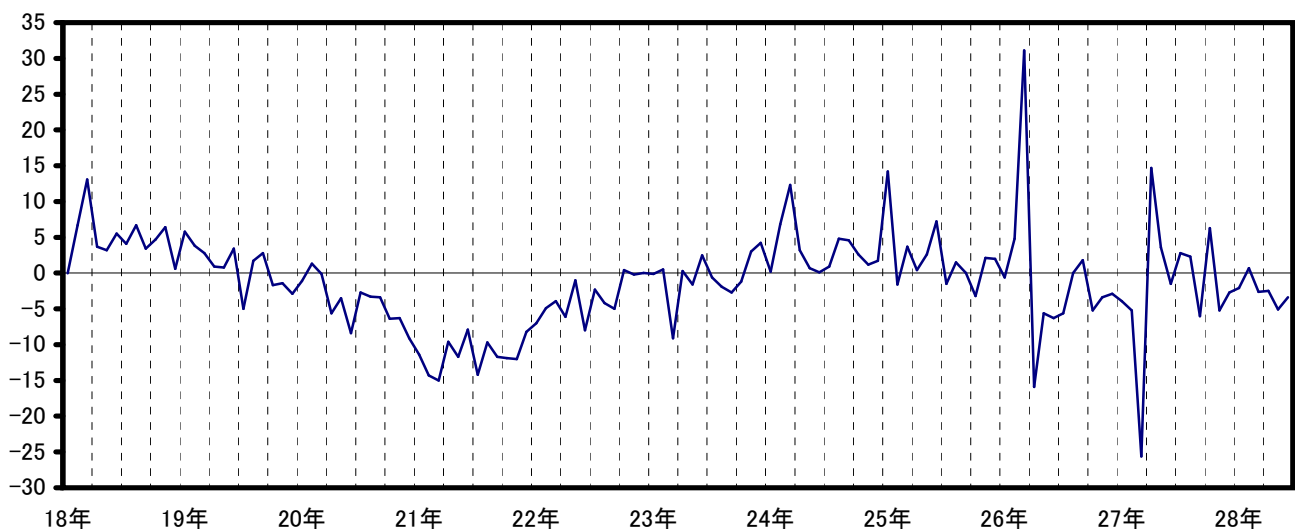
	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
衣料品	▲ 12.3	▲ 6.0	▲ 6.5	▲ 6.6	▲ 7.9	▲ 5.4	▲ 12.2	▲ 5.3
うち紳士服・洋品	▲ 15.6	▲ 8.7	▲ 7.6	▲ 9.9	▲ 5.9	▲ 7.8	▲ 8.2	▲ 10.3
婦人服・洋品	▲ 10.8	▲ 4.4	▲ 6.7	▲ 5.1	▲ 9.1	▲ 5.8	▲ 12.9	▲ 2.6
子供服・洋品	▲ 16.8	▲ 7.3	▲ 10.0	▲ 16.4	▲ 10.4	6.3	▲ 11.2	▲ 17.3
身の回り品	▲ 6.1	▲ 0.8	0.6	▲ 0.5	▲ 3.5	▲ 2.8	▲ 4.9	▲ 1.0
家庭用品	▲ 2.9	▲ 15.3	2.3	4.2	1.1	▲ 28.4	▲ 3.1	▲ 15.6
食料品	▲ 2.4	0.7	3.2	3.4	1.5	2.7	▲ 4.2	▲ 3.2
雑貨	8.5	▲ 0.5	▲ 0.8	11.0	4.4	10.1	11.4	5.2
うち美術・宝飾・貴金属	10.8	▲ 5.8	▲ 20.3	5.2	0.0	0.3	2.6	▲ 7.1

(注)店舗数調整済

### <過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比（%）

<資料>県百貨店協会



(3) 専門量販店等販売額

6月 = 35,260百万円

\*前年同月比： 3.4%増

(県内87家電大型専門店、449ドラッグストア、100ホームセンター合計)

<概況>

6月の専門量販店等販売額は35,260百万円で、前年同月比3.4%増となり、12か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、ホームセンター（前年同月比 1.0%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店（同 7.1%増）が2か月ぶり、ドラッグストア（同 3.9%増）が15か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
販売額（百万円）	33,811	42,593	34,535	31,796	36,581	34,569	36,059	35,260
前年同月比（%）	0.6	2.4	5.9	5.5	0.6	5.2	0.2	3.4
うち 家電大型専門店（%）	▲ 6.3	▲ 5.0	5.1	▲ 0.6	▲ 5.5	0.5	▲ 1.3	7.1
ドラッグストア（%）	7.5	10.6	7.9	10.0	5.2	8.3	2.8	3.9
ホームセンター（%）	▲ 6.3	▲ 3.7	2.2	1.4	▲ 1.8	3.1	▲ 3.7	▲ 1.0
(参考)全国前年同月比（%）	1.9	1.1	5.1	4.8	0.6	4.6	0.5	3.0

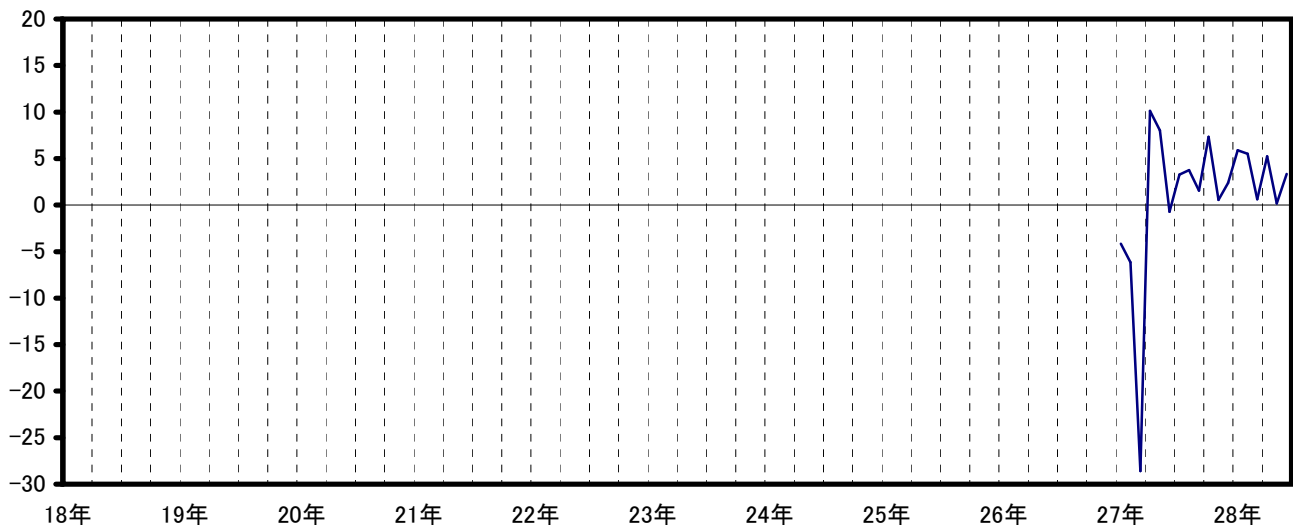
(注)販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省





#### (4) 自動車(新車)新規登録台数

6月 = 14,201台

\*前年同月比： 3.5%減

(乗用車、軽自動車合計)

##### <概況>

6月の自動車(新車)新規登録台数は14,201台(前年同月比 3.5%減)となり、2か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(同 5.5%増)が3か月連続で前年実績を上回ったものの、軽自動車(同 14.3%減)が18か月連続で前年実績を下回った。

##### <最近の動き>

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
登録台数(台)	13,034	13,192	14,747	17,217	22,040	10,428	11,198	14,201
前年同月比(%)	▲ 7.9	▲ 6.8	▲ 0.9	▲ 5.3	▲ 8.4	0.5	▲ 2.0	▲ 3.5
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 7.6	▲ 14.6	▲ 4.4	▲ 5.2	▲ 9.3	2.2	▲ 1.4	▲ 5.6

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

##### <車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

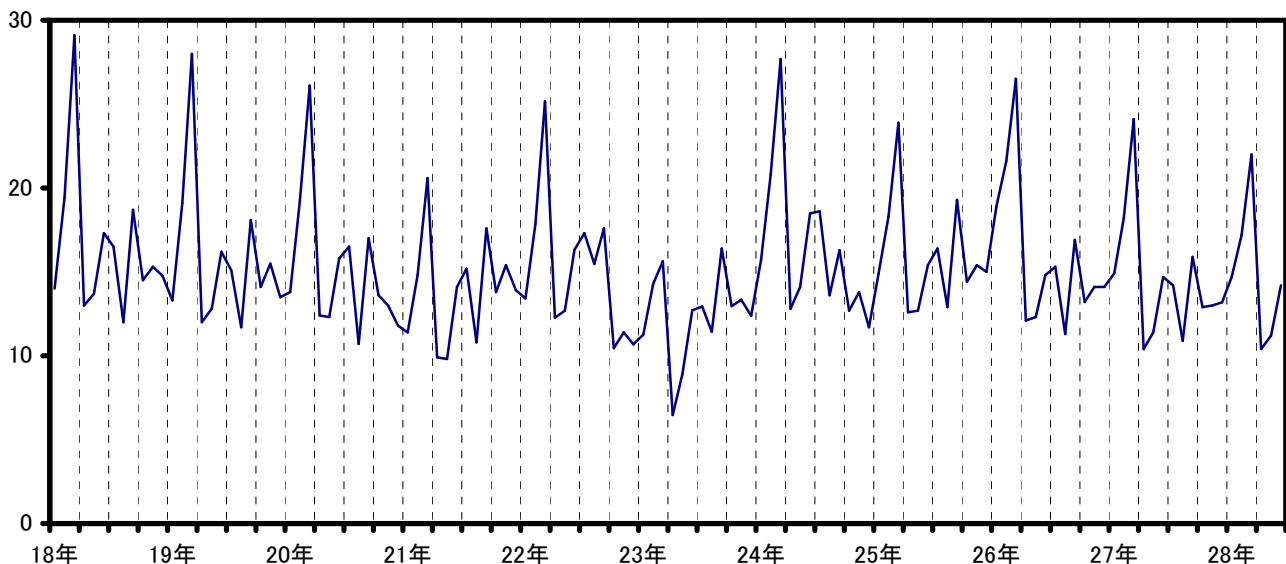
	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
全乗用車	▲ 7.9	▲ 6.8	▲ 0.9	▲ 5.3	▲ 8.4	0.5	▲ 2.0	▲ 3.5
乗用車	▲ 0.2	4.5	7.9	▲ 1.9	▲ 1.0	11.6	6.6	5.5
軽自動車	▲ 15.6	▲ 17.9	▲ 9.6	▲ 8.9	▲ 16.1	▲ 11.5	▲ 12.2	▲ 14.3

<資料>県税務課

##### <過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

## 2 新設住宅着工戸数

6 月 = 2,195戸

\*前年同月比： 2.7%減

### <概況>

6月の新設住宅着工戸数は2,195戸で、前年同月比 2.7%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

利用関係別にみると、分譲住宅（前年同月比 24.4%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家（同 12.5%減）が3か月連続、貸家（同 6.5%減）が6か月ぶりに前年実績を下回った。

### <最近の動き>

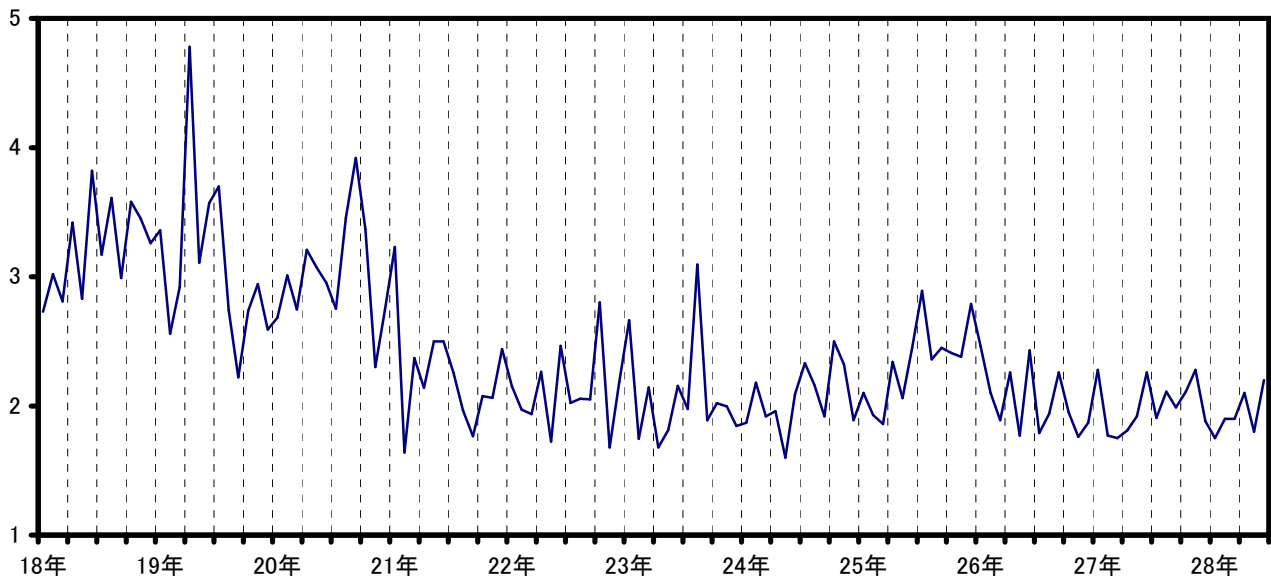
	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
戸数（戸）	2,280	1,883	1,753	1,895	1,885	2,096	1,817	2,195
前年同月比（%）	29.8	0.6	▲ 23.0	7.0	7.7	16.1	▲ 5.1	▲ 2.7
うち持家（%）	24.3	▲ 1.2	▲ 16.3	▲ 9.4	2.0	▲ 9.4	▲ 0.3	▲ 12.5
貸家（%）	44.4	▲ 14.6	5.8	9.3	9.9	33.8	21.7	▲ 6.5
分譲住宅（%）	17.7	31.2	▲ 63.6	55.8	33.0	90.6	▲ 44.0	24.4
(参考)全国前年同月比（%）	1.7	▲ 1.3	0.2	7.8	8.4	9.0	9.8	▲ 2.5

<資料>県住まいづくり課

### <過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



### 3 公共工事請負金額

6月 = 22,745百万円

\*前年同月比： 5.4%減

(建設保証会社保証実績)

#### <概況>

6月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は22,745百万円で、前年同月比5.4%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は631件で、前年同月比5.9%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
金額(百万円)	15,778	15,359	8,963	6,499	15,013	50,393	19,103	22,745
前年同月比(%)	9.2	▲0.6	▲5.4	▲19.7	▲0.7	28.7	▲19.8	▲5.4
年度累計前年同月比(%)	▲4.3	▲4.0	▲4.1	▲4.6	▲4.4	28.7	10.3	6.0
件数(件)	744	805	441	159	167	478	393	631
前年同月比(%)	8.6	7.5	▲4.5	▲44.8	▲8.7	3.7	8.3	5.9
年度累計前年同月比(%)	▲2.8	▲1.7	▲1.9	▲3.5	▲3.6	3.7	5.7	5.8

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

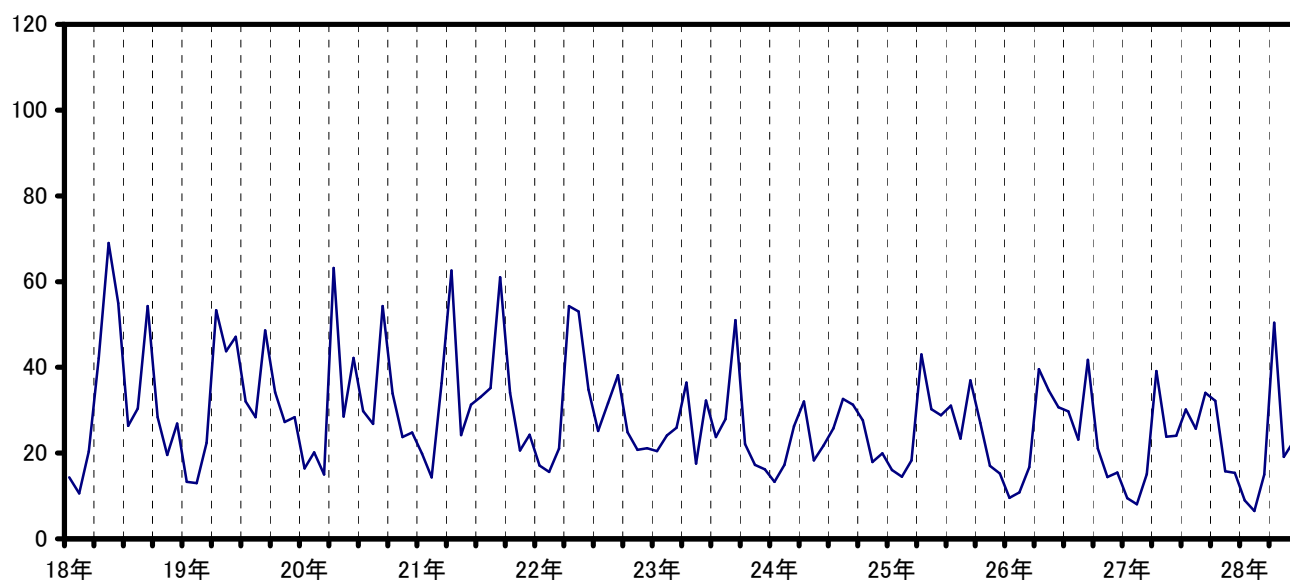
	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
国	▲47.4	8.4	72.0	17.0	▲19.5	84.8	4.4	▲64.0
独立行政法人等	▲71.2	▲11.0	▲92.4	▲64.3	1,900.6	103.0	▲17.8	40.3
県	24.3	17.4	▲15.5	▲60.3	▲46.5	15.7	▲27.1	▲3.0
市町	27.3	▲0.5	18.1	▲10.6	▲17.6	▲15.0	▲32.5	10.0
地方公社	—	218.8	1,780.0	—	—	—	9,445.5	—
その他	4.2	▲46.1	▲45.6	87.8	90.3	98.8	▲20.0	0.8

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



## 4 設備投資

### <概況>

平成27年度の設備投資（実績）は、製造業（前年度比 17.1%増）、非製造業（同 1.8%増）ともに増加したことから、全産業（同 9.6%増）でも増加となった。

平成28年度の設備投資（計画）は、製造業（前年度比 17.1%増）で増加、非製造業（同 0.4%減）で減少、全産業（同 9.1%増）では増加する計画となっている。

6月の着工建築物床面積（非居住用）は99,402㎡で、前年同月比 25.2%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

### <企業短期経済観測調査結果>

（前年度比% （ ）内は前回調査比修正率）

		27年度 (実績)	27年度		28年度 (計画)	28年度	
			上期 (実績)	下期 (実績)		上期 (計画)	下期 (計画)
全産業	県	(▲5.5) 9.6	(▲0.3) 13.4	(▲9.6) 6.5	(3.3) 9.1	(3.8) 14.5	(2.8) 4.5
	全国	(▲2.8) 5.0		(▲3.9) 4.2	(2.5) 0.4	(1.5) 9.4	(3.4) ▲6.6
製造業	県	(▲5.3) 17.1	(0.3) 22.7	(▲9.0) 13.2	(3.2) 17.1	(▲4.5) 23.9	(10.5) 12.1
	全国	(▲1.5) 9.1	7.1	(▲2.7) 10.7	(5.3) 6.0	(4.8) 18.8	(5.9) ▲3.8
非製造業	県	(▲5.9) 1.8	(▲0.9) 5.3	(▲10.4) ▲1.3	(3.4) ▲0.4	(15.8) 5.0	(▲7.4) ▲5.7
	全国	(▲3.5) 2.9	2.7	(▲4.5) 3.1	(1.0) ▲2.5	(▲0.4) 4.6	(2.1) ▲8.0

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成28年6月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成28年6月調査)」

### <最近の動き>

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	110,179	86,797	143,745	82,939	154,306	89,979	67,384	99,402
前年同月比（%）	▲ 29.4	▲ 16.9	100.2	▲ 0.6	151.3	▲ 14.4	▲ 32.6	▲ 25.2
(参考) 全国前年同月比（%）	▲ 6.8	6.7	▲ 11.1	▲ 12.0	12.7	▲ 22.0	19.0	4.2

(注) 着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

### <参考 県内企業の業況判断D. I. >

	28年3月	28年6月	28年9月 (予測)
全産業	7	3	▲ 3
製造業	2	▲ 2	▲ 4
非製造業	11	7	▲ 2
(参考) 全国・全産業	7	4	2

(注) 業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成28年6月調査)」

5 輸出

6 月 = 156,022百万円

\*前年同月比： 7.7%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

6月の清水税関支署管内の輸出総額は156,022百万円で、前年同月比 7.7%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、科学光学機器(前年同月比 10.0%増)が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、原動機(同 1.6%減)が2か月連続、エアコン(同 6.7%減)が6か月連続、自動車(同 1.2%減)が14か月連続、自動車の部分品(同 9.3%減)が11か月連続、二輪自動車類(同 11.1%減)が3か月ぶりに前年実績を下回った。

地域別にみると、アジア向け(前年同月比 2.1%減)が4か月連続、米国向け(同 7.1%減)が3か月連続、EU向け(同 7.6%減)が5か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
輸出総額(百万円)	154,196	179,516	143,606	168,867	179,315	167,022	139,497	156,022
前年同月比(%)	▲ 5.1	▲ 5.7	▲ 13.5	3.5	▲ 1.7	▲ 3.1	▲ 4.8	▲ 7.7

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
原動機	10.4	7.3	7.2	16.9	27.9	5.3	▲ 1.5	▲ 1.6
エアコン	20.4	22.9	▲ 24.2	▲ 11.0	▲ 19.1	▲ 1.9	▲ 4.1	▲ 6.7
自動車	▲ 29.2	▲ 19.2	▲ 46.5	▲ 25.9	▲ 19.8	▲ 9.5	▲ 34.3	▲ 1.2
自動車の部分品	▲ 4.4	▲ 3.9	▲ 20.4	▲ 4.8	▲ 4.8	▲ 12.9	▲ 2.9	▲ 9.3
二輪自動車類	▲ 37.1	▲ 27.2	▲ 22.9	▲ 3.1	▲ 2.7	14.1	14.2	▲ 11.1
科学光学機器	48.5	21.4	8.0	67.3	45.3	6.5	▲ 8.0	10.0

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
アジア	0.2	▲ 1.4	▲ 10.8	6.7	▲ 4.5	▲ 4.1	▲ 4.6	▲ 2.1
米国	▲ 7.0	▲ 20.7	▲ 5.2	4.3	5.9	▲ 5.6	▲ 14.7	▲ 7.1
EU	0.3	17.4	▲ 20.2	13.0	12.1	18.1	27.4	▲ 7.6

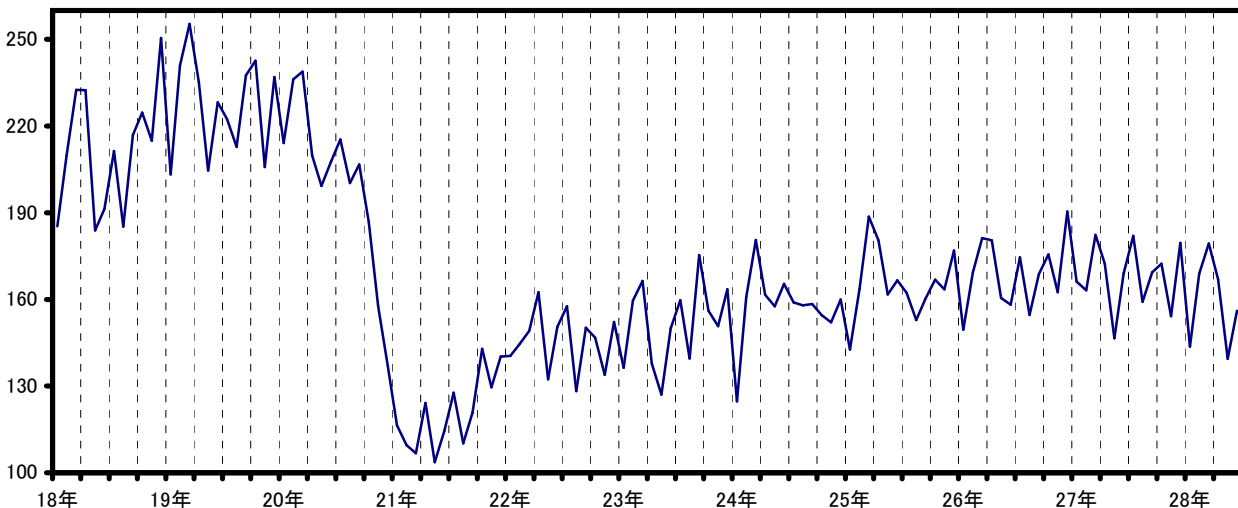
<資料>清水税関支署

(注)管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



## 6 輸入

6月 = 70,876百万円

\*前年同月比： 13.3%減

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

6月の清水税関支署管内の輸入総額は70,876百万円で、前年同月比 13.3%減となり、7か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、紙類及び同製品（前年同月比 24.8%増）が3か月ぶり、原動機（同 53.7%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類（同 13.8%減）が2か月ぶり、木材（同 15.0%減）、パルプ（同 27.5%減）がいずれも6か月連続、自動車の部分品（同 26.3%減）が5か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、アジアから（前年同月比 10.5%減）が2か月ぶり、米国から（同 10.0%減）が4か月連続、EUから（同 23.1%減）が6か月連続で前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
輸入総額(百万円)	81,618	78,322	86,528	76,372	77,666	70,712	78,982	70,876
前年同月比(%)	8.2	▲ 18.4	▲ 11.2	▲ 10.7	▲ 11.0	▲ 21.6	▲ 0.7	▲ 13.3

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
魚介類	▲ 1.0	▲ 0.1	▲ 2.9	▲ 0.4	10.0	▲ 6.9	13.5	▲ 13.8
木材	▲ 5.2	21.6	▲ 11.0	▲ 12.9	▲ 10.1	▲ 34.4	▲ 10.7	▲ 15.0
パルプ	35.4	10.5	▲ 15.3	▲ 13.4	▲ 29.7	▲ 29.6	▲ 9.0	▲ 27.5
紙類及び同製品	23.9	32.2	23.4	24.9	42.7	▲ 6.7	▲ 1.2	24.8
原動機	0.0	▲ 27.1	▲ 1.4	▲ 51.6	99.8	▲ 55.3	39.9	53.7
自動車の部分品	▲ 18.6	▲ 1.5	4.5	▲ 42.4	▲ 36.2	▲ 42.7	▲ 37.7	▲ 26.3

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

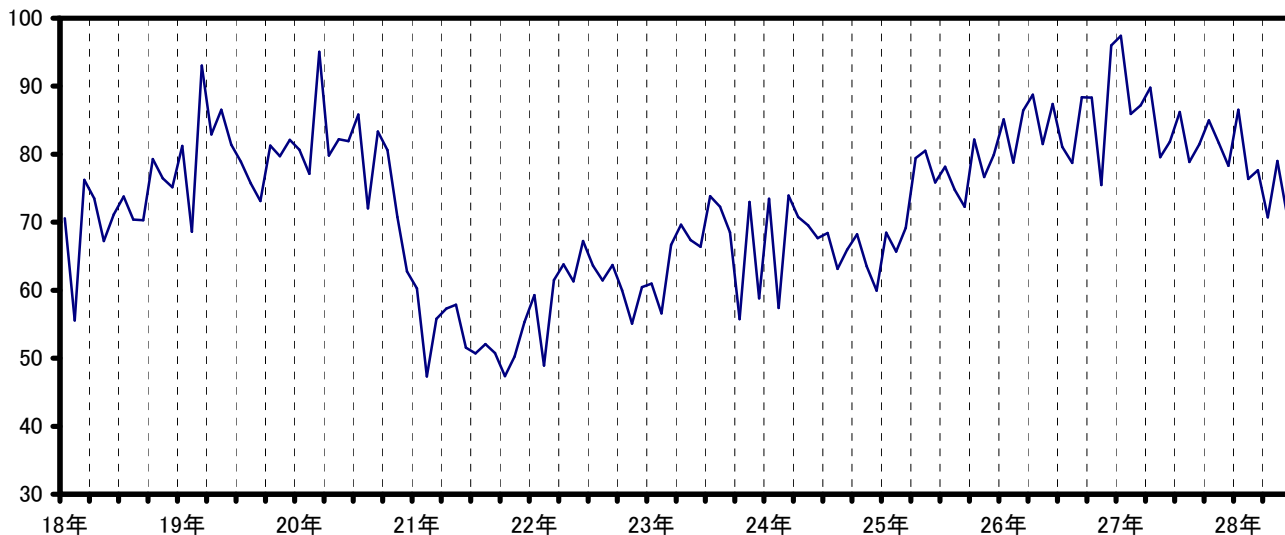
	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
アジア	2.6	▲ 8.7	▲ 7.2	▲ 11.6	5.9	▲ 11.3	1.2	▲ 10.5
米国	80.8	▲ 33.1	17.2	4.7	▲ 10.1	▲ 18.1	▲ 14.9	▲ 10.0
EU	2.3	8.5	▲ 6.0	▲ 10.1	▲ 20.4	▲ 35.4	▲ 19.6	▲ 23.1

<資料>清水税関支署

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



# 生 産 面

## 1 生 産

### (1) 鉱工業生産指数

5 月 = 88.2

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 6.1%減

\*前年同月比(原指数) : 3.8%減

#### <概 況>

5月の鉱工業生産指数(総合)は88.2(季節調整済指数)で、前月比6.1%減となり、3か月にぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は3.8%減と6か月連続で前年を下回った。業種別にみると、電気機械(前年同月比5.5%増)が4か月連続、化学(同19.3%増)が12か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同3.4%減)、食品・たばこ(同18.9%減)がいずれも4か月連続、輸送機械(同8.9%減)が15か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同0.4%減)が3か月連続で前年水準を下回った。

#### <最近の動き>

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
指 数	90.1	90.2	89.8	92.9	90.2	90.7	93.9	88.2
前 月 比 (%)	▲ 0.2	0.1	▲ 0.4	3.5	▲ 2.9	0.6	3.5	▲ 6.1
前 年 同 月 比 (%)	▲ 4.6	0.3	▲ 2.3	▲ 5.0	▲ 4.9	▲ 6.2	▲ 3.0	▲ 3.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 1.4	1.6	▲ 1.6	▲ 3.8	▲ 1.5	▲ 5.2	▲ 3.5	▲ 0.1

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

#### <県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 0.1	12.4	▲ 3.5	0.8	▲ 13.4	▲ 3.3	▲ 0.5	▲ 3.4
電 気 機 械 工 業	▲ 2.0	7.7	0.2	▲ 2.8	4.5	12.2	1.4	5.5
輸 送 機 械 工 業	▲ 16.2	▲ 13.1	▲ 16.0	▲ 18.7	▲ 21.0	▲ 30.6	▲ 11.7	▲ 8.9
化 学 工 業	10.7	15.5	17.0	14.5	18.4	23.4	22.9	19.3
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 1.0	▲ 0.6	0.8	▲ 1.5	1.4	▲ 2.6	▲ 2.1	▲ 0.4
食品・たばこ工業	▲ 1.1	3.2	8.5	0.9	▲ 0.3	▲ 2.8	▲ 14.0	▲ 18.9

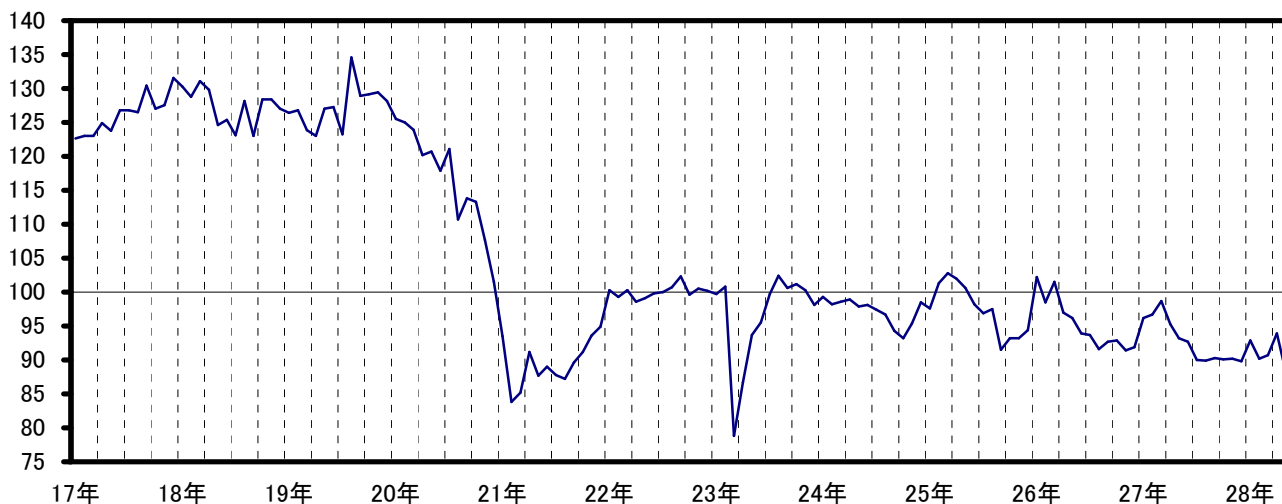
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



## (2) 鋳工業在庫指数

5 月 = 118.5

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 3.6%減

\*前年同月比(原指数) : 6.2%増

### <概況>

5月の鋳工業在庫指数(総合)は118.5(季節調整済指数)で、前月比は3.6%減と2か月連続で低下した。また、前年同月比(原指数)は6.2%増と15か月連続で前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。

業種別にみると、輸送機械(前年同月比10.1%減)が2か月連続、食料品・たばこ(同9.4%減)が3か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同5.1%増)が2か月連続、電気機械(同15.0%増)が29か月連続、化学(同4.2%増)が10か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同1.8%増)が9か月連続で前年水準を上回った。

### <最近の動き>

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
指数	120.4	119.6	120.5	119.9	123.3	125.9	122.9	118.5
前月比(%)	3.1	▲0.7	0.8	▲0.5	2.8	2.1	▲2.4	▲3.6
前年同月比(%)	16.1	16.4	18.9	21.2	19.0	12.2	9.1	6.2
(参考)全国前年同月比(%)	0.2	▲0.5	0.0	0.2	▲0.9	▲0.2	0.1	0.6

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

### <県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲5.4	▲6.9	▲7.8	▲10.3	▲3.0	▲8.5	2.6	5.1
電気機械工業	17.1	25.7	20.7	24.4	23.2	25.0	17.0	15.0
輸送機械工業	114.2	113.3	160.2	130.7	69.1	41.3	▲0.4	▲10.1
化学工業	17.6	9.8	14.7	11.5	17.3	14.1	13.6	4.2
パルプ・紙・紙加工品工業	6.1	6.4	11.8	13.5	10.0	6.0	1.9	1.8
食料品・たばこ工業	3.2	6.5	7.1	6.3	7.6	▲3.4	▲14.1	▲9.4

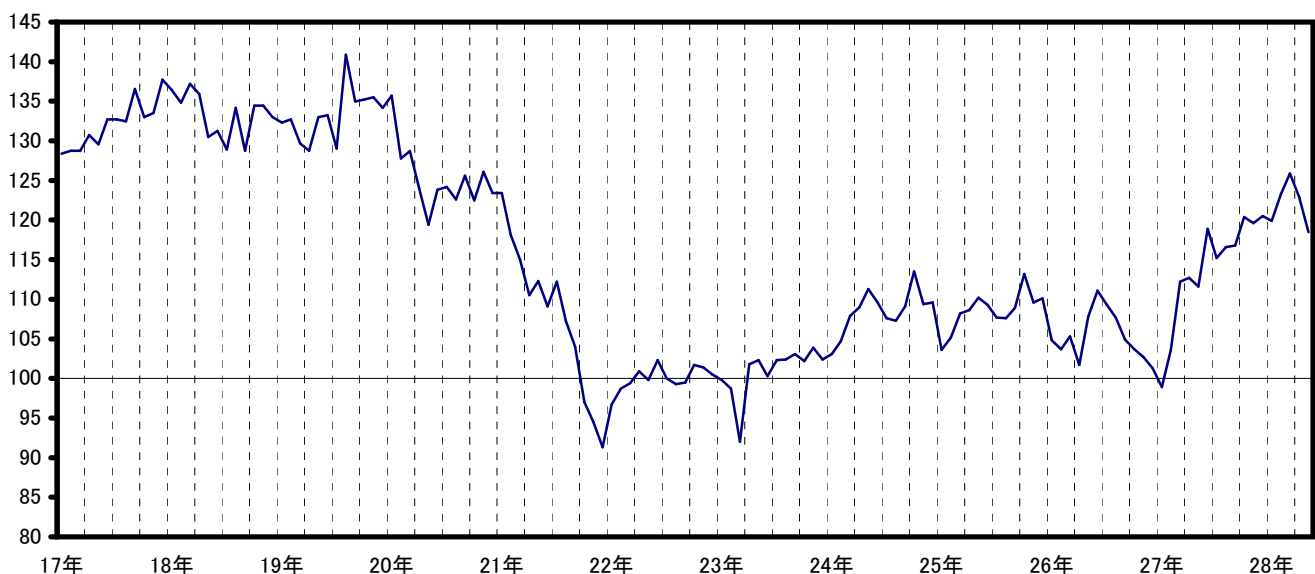
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

### <過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課





# 雇 用 面

## 1 雇 用

### (1) 有効求人倍率

**6 月 = 1.34倍**

\*前月比（季節調整値）： 0.01ポイント減

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

#### <概 況>

6月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.34倍となり、前月を0.01ポイント下回った。また、2か月連続で全国値を下回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比2.4%増）は5か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、情報通信業（前年同月比14.8%減）が8か月連続、運輸業・郵便業（同5.9%減）が2か月ぶり、医療・福祉（同0.5%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、建設業（同5.1%増）が5か月連続、製造業（同6.6%増）、卸売業・小売業（同6.6%増）がいずれも8か月連続、サービス業（他に分類されないもの）（同13.0%増）が4か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

（単位：倍）

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
県	1.24	1.25	1.24	1.25	1.27	1.36	1.35	1.34
全 国	1.26	1.27	1.28	1.28	1.30	1.34	1.36	1.37

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

#### <産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
建 設 業	2.0	14.1	▲ 5.1	0.8	11.0	5.1	6.3	5.1
製 造 業	6.7	4.6	9.5	4.6	11.0	9.2	8.9	6.6
情 報 通 信 業	▲ 17.2	▲ 15.8	▲ 20.8	▲ 13.1	▲ 17.9	▲ 32.0	▲ 40.3	▲ 14.8
運 輸 業 ・ 郵 便 業	0.8	13.3	▲ 9.4	8.0	▲ 0.6	▲ 5.2	12.6	▲ 5.9
卸 売 業 ・ 小 売 業	10.5	17.5	18.9	59.3	28.0	12.0	64.3	6.6
医 療 ・ 福 祉	▲ 2.2	▲ 10.0	▲ 16.9	9.8	▲ 1.9	5.2	▲ 3.8	▲ 0.5
サービス業（他に分類されないもの）	0.3	24.8	▲ 13.6	▲ 5.3	11.4	20.0	15.8	13.0
合 計	3.2	6.5	▲ 5.1	11.1	7.9	5.6	9.1	2.4

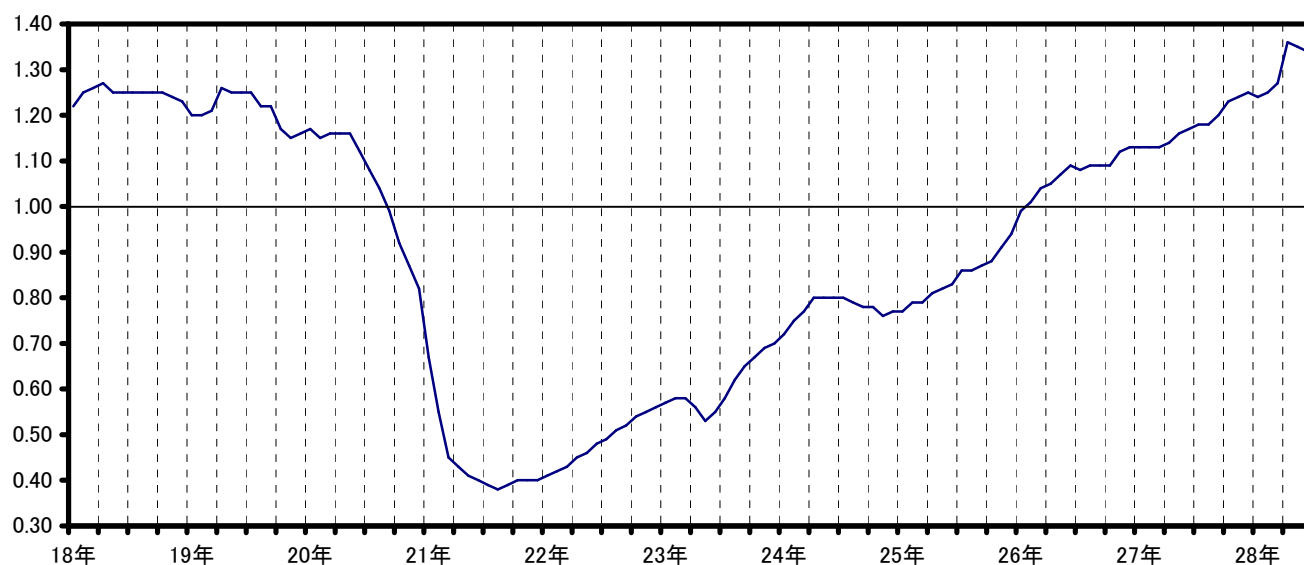
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

#### <過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

6月 = 12,519人

\*前月比: 4.7%増

\*前年同月比: 14.0%減

<概況>

6月の雇用保険受給者実人員は12,519人で、前月比は4.7%増と2か月連続で前月を上回った。また、前年同月比は14.0%減と35か月連続で前年実績を下回った。  
 完全失業率(全国)は3.1%で、前月から0.1ポイント改善した。  
 静岡県(平成28年1~3月)の完全失業率は2.7%で、前期(27年10~12月)と同水準となった。

<最近の動き>

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
実人員(人)	12,991	12,320	12,525	12,042	11,671	11,113	11,955	12,519
前月比(%)	▲5.5	▲5.2	1.7	▲3.9	▲3.1	▲4.8	7.6	4.7
前年同月比(%)	▲8.3	▲11.0	▲10.1	▲8.7	▲9.8	▲12.8	▲13.2	▲14.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲3.4	▲6.3	▲6.2	▲4.6	▲6.0	▲8.9	▲5.5	▲7.5

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
完全失業率(全国)(%)	3.3	3.3	3.2	3.3	3.2	3.2	3.2	3.1

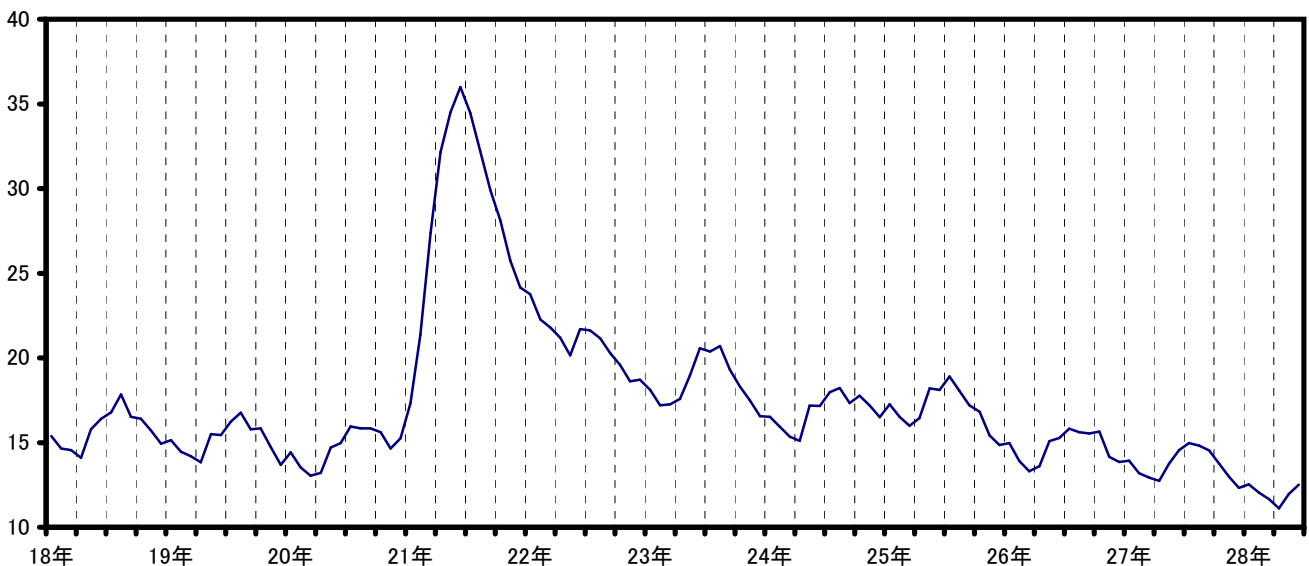
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



### (3) 所定外労働時間指数

5月 = 115.5

\*前月比(季節調整済指数): 2.7%増

(平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) \*前年同月比(原指数) : 9.9%増

#### <概況>

5月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は115.5(季節調整済指数)で、前月比2.7%増となった。また、前年同月比(原指数)は9.9%増となり、2か月連続で前年を上回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比13.5%減)が6か月連続で前年実績を下回ったものの、製造業(同1.8%増)、情報通信業(同4.9%増)、運輸業・郵便業(同2.1%増)がいずれも2か月連続、卸売業・小売業(同15.5%増)、医療・福祉(同9.9%増)がいずれも3か月連続、その他のサービス業(同6.8%増)が3か月ぶりに前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
指数	113.7	113.0	111.0	108.6	111.5	107.1	112.5	115.5
前月比(%)	1.7	▲0.6	▲1.8	▲2.2	2.7	▲3.9	5.0	2.7
前年同月比(%)	6.3	5.1	0.5	▲2.7	0.0	▲2.0	5.5	9.9
(参考)全国前年同月比(%)	0.0	0.8	▲1.5	▲3.1	▲1.6	▲0.7	▲0.7	▲2.4

\*平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
建設業	8.8	8.6	▲5.4	▲31.6	▲31.5	▲33.9	▲37.5	▲13.5
製造業	11.2	9.1	0.4	▲1.1	▲3.9	▲7.0	3.8	1.8
情報通信業	10.3	59.3	55.0	32.4	▲7.8	▲9.1	5.4	4.9
運輸業・郵便業	▲1.0	1.4	▲0.3	▲10.6	▲1.6	▲9.9	1.3	2.1
卸売業・小売業	▲7.1	▲4.1	▲4.3	▲28.7	▲11.0	11.4	0.0	15.5
医療・福祉	36.7	38.4	▲20.9	▲19.4	▲13.9	6.9	14.9	9.9
その他のサービス業	▲9.0	2.6	15.6	6.5	6.4	▲1.6	▲7.7	6.8
調査産業計	6.3	5.1	0.5	▲2.7	0.0	▲2.0	5.5	9.9

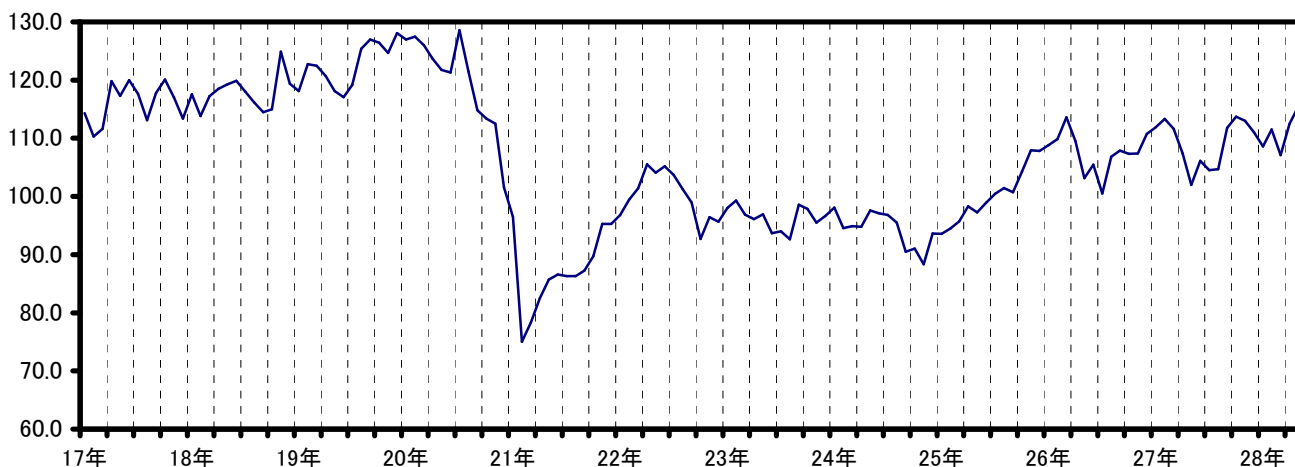
\*平成22年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



## そ の 他

### 1 物 価

#### 国内企業物価指数

(平成22年=100)

7 月 = 99.2

\*前 月 比: 同水準

\*前年同月比: 3.9%下落

#### <概 況>

7月の国内企業物価指数は99.2となり、前月と同水準となった。また、前年同月比は3.9%の下落となった。

#### <最近の動き>

	27年12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
国内企業物価指数	101.0	100.0	99.7	99.6	99.2	99.3	99.2	99.2
前 月 比 (%)	▲ 0.3	▲ 1.0	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 0.4	0.1	▲ 0.1	0.0
前年同月比 (%)	▲ 3.5	▲ 3.2	▲ 3.4	▲ 3.8	▲ 4.2	▲ 4.3	▲ 4.2	▲ 3.9

\*平成22年=100

<資料>日本銀行

### 2 金 融

#### (1) 県内金融機関貸出残高

(銀行、信用金庫)

6 月 = 136,065億円

\*前 月 比: 0.4%増

\*前年同月比: 2.5%増

#### <概 況>

6月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は136,065億円で、前月比は0.4%増、前年同月比は2.5%増となった。

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
貸出残高(億円)	134,046	137,340	136,096	135,700	138,097	135,831	135,574	136,065
前 月 比 (%)	0.3	2.5	▲ 0.9	▲ 0.3	1.8	▲ 1.6	▲ 0.2	0.4
前年同月比 (%)	1.7	2.8	2.8	2.6	2.5	2.3	2.2	2.5

<資料>日本銀行静岡支店

#### (2) 貸出約定金利

(県内地銀4行総平均)

6 月 = 2.153%

\*前 月 差: 0.001ポイント増

\*前年同月差: 同水準

#### <概 況>

6月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.153%で、前月から0.001ポイントのプラスとなった。なお、前年同月と同水準となった。

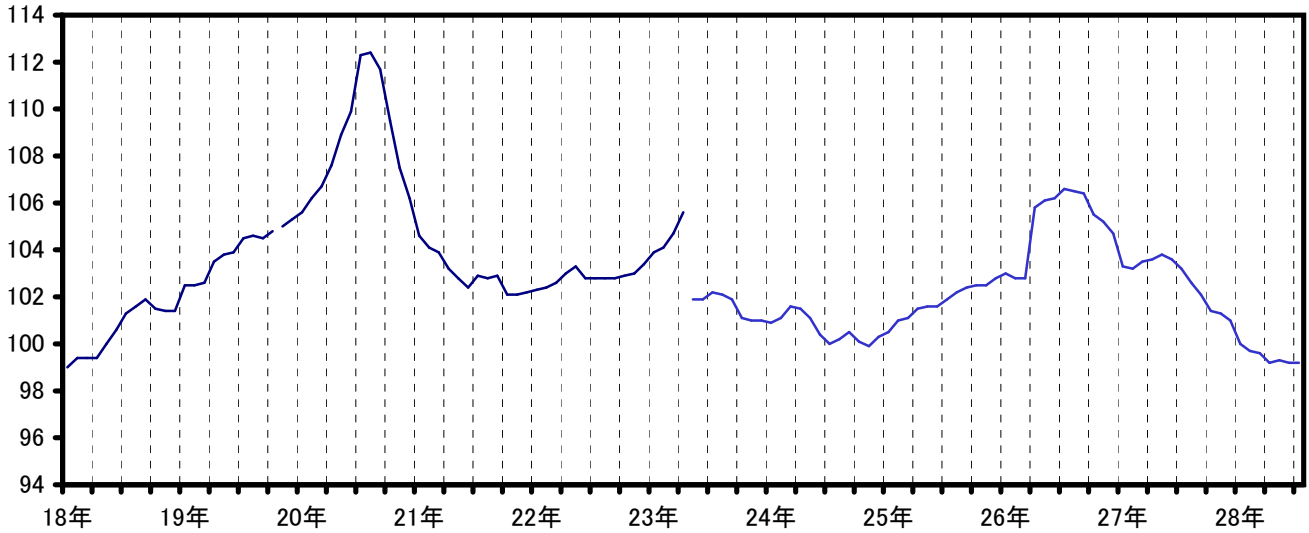
	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
貸出約定金利(%)	2.168	2.150	2.159	2.164	2.145	2.156	2.152	2.153
前月差(ポイント)	0.002	▲ 0.018	0.009	0.005	▲ 0.019	0.011	▲ 0.004	0.001
前年同月差(ポイント)	0.042	0.032	0.028	0.022	0.021	0.019	0.015	0.000

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

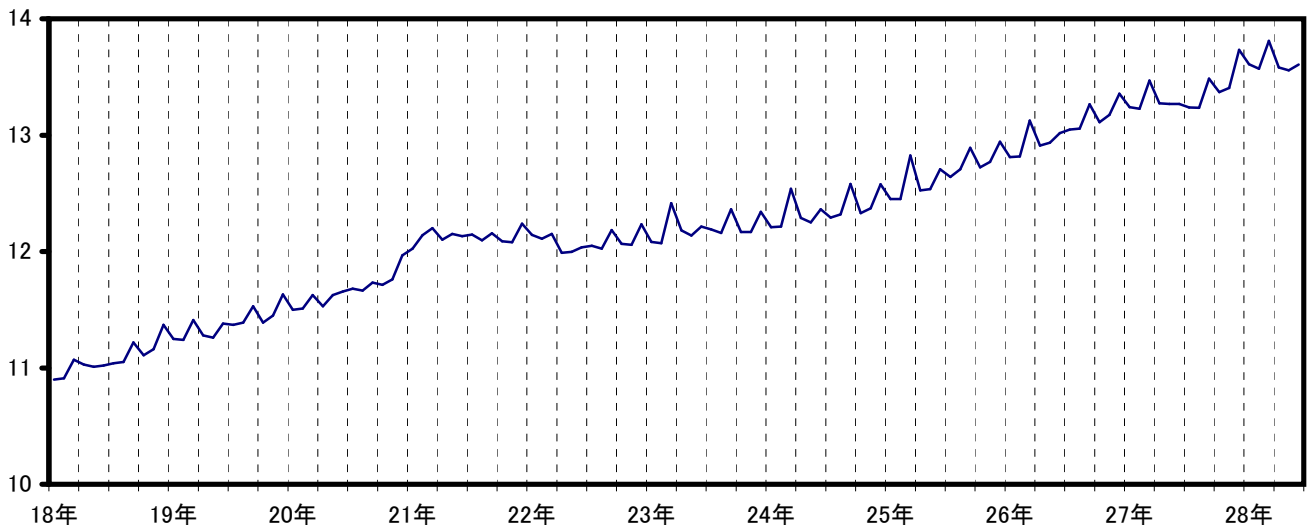
国内企業物価指数(平成22年=100)

<資料>日本銀行



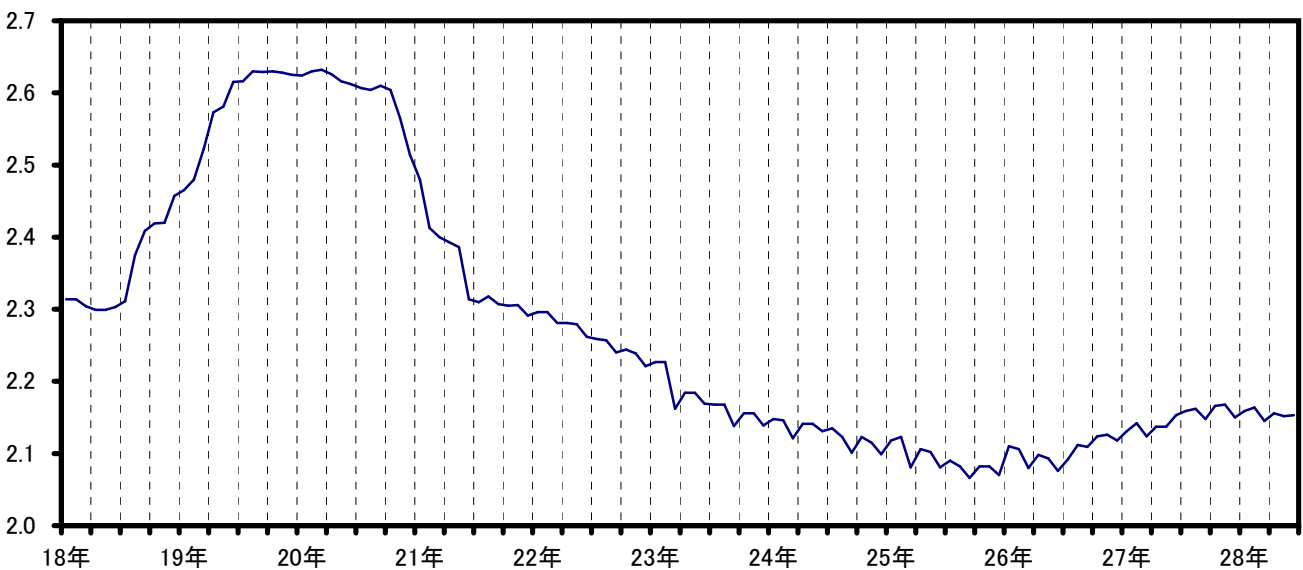
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



**(3) 信用保証協会保証金額****6月 = 23,147百万円**

\*前年同月比： 3.5%減

## &lt;概況&gt;

6月の保証承諾は、金額が23,147百万円（前年同月比 3.5%減）と前年を下回り、件数は2,324件（同 11.9%減）と15か月連続で前年実績を下回った。

## &lt;最近の動き&gt;

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
保証金額（百万円）	19,298	26,865	15,313	18,631	24,978	14,208	17,302	23,147
前年同月比（%）	▲ 8.9	▲ 12.6	▲ 18.2	▲ 12.0	▲ 19.1	▲ 15.9	0.0	▲ 3.5
保証件数（件）	2,015	2,647	1,694	2,029	2,621	1,600	1,835	2,324
前年同月比（%）	▲ 6.9	▲ 16.6	▲ 12.7	▲ 13.3	▲ 18.5	▲ 13.8	▲ 6.2	▲ 11.9

&lt;資料&gt;県信用保証協会

**(4) 円相場****7月 = 103.90円/ドル**

\*前月差： 1.59円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

\*前年同月差： 19.33円高

## &lt;概況&gt;

7月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は103.90円で、前月と比べて1.59円の円高となり、8か月連続の円高となった。

## &lt;最近の動き&gt;

	27年12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
平均相場（円）	121.84	118.25	115.02	113.07	109.88	109.15	105.49	103.90
前月差（円）	▲ 0.70	▲ 3.59	▲ 3.23	▲ 1.95	▲ 3.19	▲ 0.73	▲ 3.66	▲ 1.59
前年同月差（円）	2.44	0.01	▲ 3.55	▲ 7.32	▲ 9.67	▲ 11.59	▲ 18.26	▲ 19.33

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

**3 企業経営****企業倒産件数****7月 = 36件**

\*前年同月比： 56.5%増

## &lt;概況&gt;

7月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産件数は36件（前年同月比 56.5%増）、負債総額は8,498百万円（同 113.2%増）となり、いずれも前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が33件と全体の91.7%を占め、224か月連続して50%以上となっている。

## &lt;最近の動き&gt;

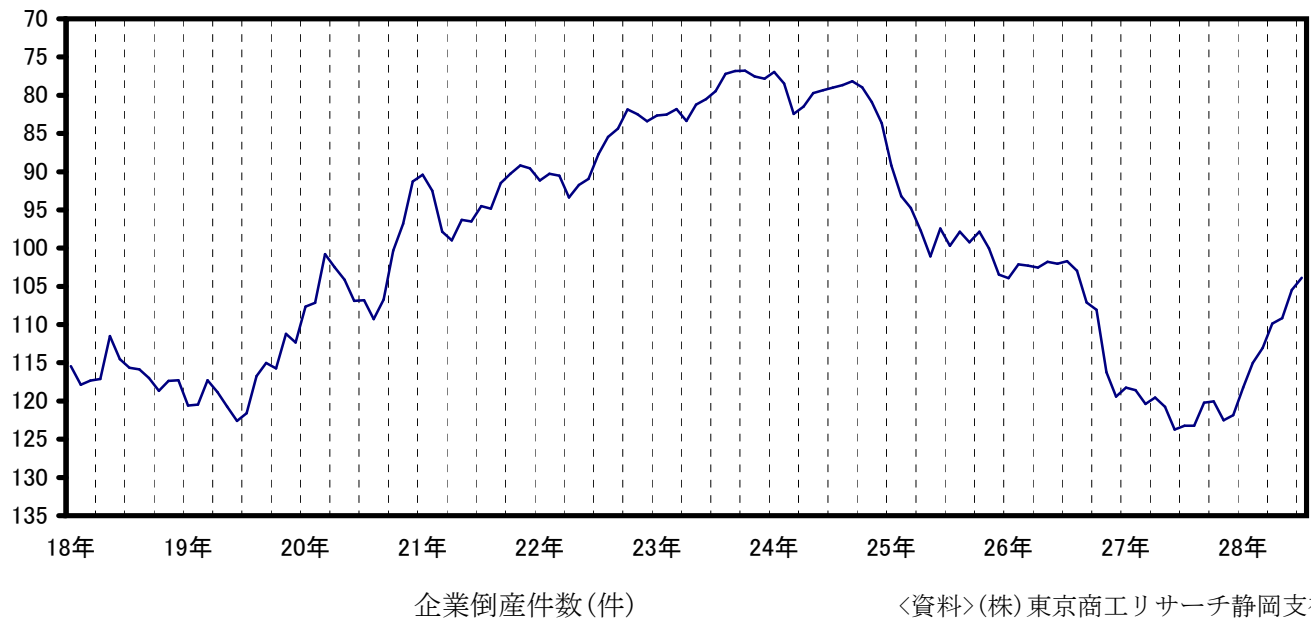
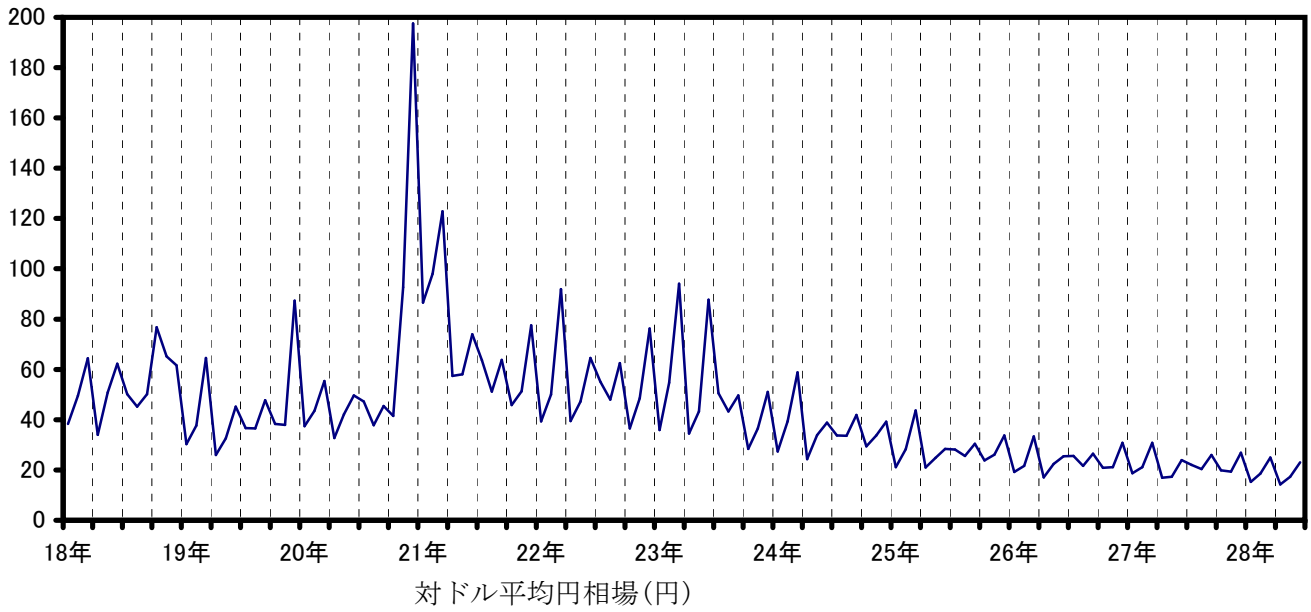
	27年12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
倒産件数（件）	19	19	27	25	12	35	31	36
前年同月比（%）	▲ 13.6	▲ 24.0	50.0	8.6	▲ 52.0	66.6	47.6	56.5
うち不況型倒産件数（件）	13	16	26	21	11	33	27	33
負債総額（百万円）	3,548	3,134	2,949	2,899	1,704	8,797	5,095	8,498
前年同月比（%）	▲ 11.6	▲ 51.0	50.0	▲ 2.8	▲ 57.4	205.6	▲ 40.7	113.2

&lt;資料&gt;（株）東京商工リサーチ静岡支社

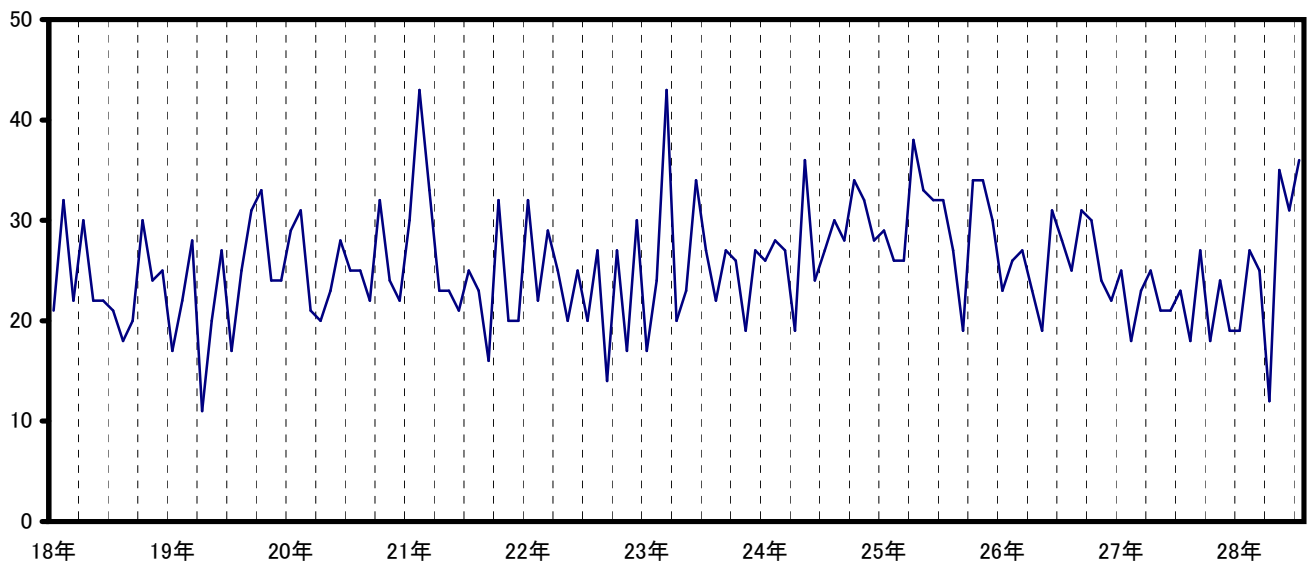
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



### Ⅲ 平成28年6月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車 二輪車部品	<p>6月の国内二輪車生産台数は、31,142台（前年同月比 11.1%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、18,701台（同 21.5%減）と前年実績を大きく下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは23,359台（同 26.0%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。輸出向けも、25,052台（同 1.2%減）で、4か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車 自動車部品	<p>6月の自動車国内生産台数は804,201台（前年同月比 1.0%減）となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。また、輸出は408,079台（同 1.1%増）となり、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、トラックが14か月連続、乗用車が2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>輸出は、アジア向けが5か月連続、欧州向けが4か月連続、北米向けが2か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>6月の冷蔵庫の国内出荷額は419億400万円（前年同月比 14.3%減）、国内出荷台数は329千台（同 19.4%減）となり、ともに2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>6月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは1,470千台（同 1.7%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。業務用は81千台（同 3.7%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>5月の携帯電話と公衆用PHSを合わせた移動電話の国内出荷台数は、875千台（同 24.1%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、343千台（同 35.7%減）となり、夏モデル発売を控え、2か月ぶりに前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は39.2%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>6月の工作機械の受注総額は、1,090億5,700万円（前年同月比 19.9%減）と、11か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は583億200万円（同 23.1%減）で、13か月連続で前年実績を下回った。特に、アジア向けが255億7,000万円（同 27.9%減）と、13か月連続で前年実績を下回った。内需は507億5,500万円（同 15.8%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業からは、円高やリコール問題等により自動車関連の企業に影響が出ており、下請け企業の業績が低迷しているという声や、急激な円高、イギリスのEU離脱決議等、国内外で景気不安要因が多く、更に投資意欲減退となるのではとの声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>



業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>6月の県内楽器メーカーの販売金額は、59億1,500万円（前年同月比 0.3%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが30億5,800万円（同 7.6%減）で、国内向けが28億5,700万円（同 8.9%増）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,439台（同 7.2%増）であった。機種別では、アップライトピアノが2,286台（同 14.0%増）、グランドピアノが1,153台（同 4.2%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,279台（同 10.1%増）、国内向けが1,346台（同 6.7%増）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>6月の紙・板紙の国内出荷高は、2,075千トン（前年同月比 2.0%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。内訳は、紙は1,120千トン（同 1.8%増）で、27か月ぶりに前年実績を上回り、板紙は955千トン（同 2.2%増）で、5か月連続で、前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、615千トン（同 4.0%増）で、11か月ぶりに前年実績を上回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、150千トン（同 3.9%増）と、15か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>6月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,112千箱（前年同月比 5.9%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は793千箱（同 0.4%増）と3か月連続で前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶も596千箱（同 1.7%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は319千箱（同 23.1%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,714千箱（同 12.0%減）と、4か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>6月の広幅織物の県内生産は、1,196千㎡（前年同月比 2.3%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,131千㎡（同 2.9%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、65千㎡（同 9.7%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、30千㎡（同20.1%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>6月の全国百貨店での家具販売額は、54億1,883万円（前年同月比 3.0%減）と4か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、536億752万円（同 8.8%増）と12か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>県内業界では、6月1日からの5日間、ツインメッセ静岡において、今年の新作家具等を展示する全国規模の家具見本市「シズオカ[KAGU]メッセ2016」を開催した。今年の家具体メッセは、約3,000点の商品が展示され、また、来場者数は約8,000人に上った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>6月の県内百貨店の売上高は、対前年比3.4%減となり、4か月連続で前年を下回った。雨の日が多かったことや衣料品販売額の伸び悩みが響いた。</p> <p>商品別では、化粧品が同15.0%増と引き続き好調であったが、美術・呉服・貴金属が同7.1%減、主力の衣料品が同5.3%減となり、ともに前年を下回った。</p> <p>中部地域の食品スーパーへの聞き取りでは、不漁のために魚介類が相場高となったことで買い控えが見られた。東部地域の食品スーパーへの聞き取りでは最近の傾向として生鮮部門より調味料や缶詰などのグロサリー部門の商品がよく売れていた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>平成28年6月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約33万人で、前年同月比3.9%減となった。減少した要因としては、梅雨前線の影響から曇りや雨の日が多く、観光客が伸び悩んだことなどが考えられる。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約65万台となっており、前年同月に比べて4.1%増となった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

## ＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

### <二輪車>

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
完成車生産台数(台)	19,604	17,245	18,593	20,329	22,973	22,614	20,913	16,802	16,487
前年同月比(%)	▲22.5	▲21.9	▲14.6	2.7	8.5	4.8	35.0	22.5	9.7
KD輸出額(百万円)	1,018	724	922	740	719	706	646	535	760
前年同月比(%)	▲36.8	▲37.1	▲22.8	▲34.4	▲28.8	▲31.5	▲36.7	▲42.9	▲7.6

### <楽器>

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
生産総額(百万円)	4,138	3,654	3,667	3,349	3,607	3,821	3,837	3,376	4,157
前年同月比(%)	7.6	6.6	5.8	▲1.0	5.5	4.4	▲2.8	▲9.3	▲2.5

### <缶詰>

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
食缶生産高(千ケース)	976	968	882	835	849	1,015	1,023	1,019	1,112
前年同月比(%)	8.1	12.7	16.8	5.7	▲4.5	8.6	11.0	15.0	5.9
うち水産缶詰(%)	6.8	11.2	16.0	3.8	▲0.9	▲1.4	0.6	3.7	0.4
農畜産缶詰(%)	12.4	18.1	19.3	11.1	▲13.0	40.9	45.5	55.5	23.1
飲料缶生産高(千ケース)	6,316	6,770	6,466	4,321	5,128	7,176	7,924	8,363	7,714
前年同月比(%)	1.0	▲2.5	▲1.9	▲12.6	▲1.4	2.9	0.4	6.9	▲12.0

### <繊維>

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
広幅織物(千㎡)	1,515	1,796	1,749	1,613	1,447	1,462	1,511	1,203	1,196
前年同月比(%)	5.9	13.7	13.9	11.7	▲4.1	▲3.7	▲0.5	▲1.5	▲2.3
小幅織物(千㎡)	40	41	39	33	37	37	37	33	30
前年同月比(%)	5.0	14.4	5.4	▲9.0	▲4.0	▲1.6	▲5.1	▲16.4	▲20.1

### <観光>

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
観光施設(10施設)入込 (千人)	460	394	261	282	261	500	510	654	330
前年同月比(%)	28.7	▲1.7	19.4	11.8	7.0	6.9	15.3	▲3.0	▲3.9
有料道路(5路線)通行量 (千台)	692	687	701	647	682	760	684	732	649
前年同月比(%)	6.6	▲1.4	4.0	3.9	12.5	0.0	5.2	2.1	4.1

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標  
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・百貨店販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・専門量販店等販売額		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・自動車新規登録台数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・新設住宅着工戸数			
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

## 提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	<a href="http://www.ejcs.co.jp/region/index.html">http://www.ejcs.co.jp/region/index.html</a>
設備投資	日本銀行静岡支店	<a href="http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html">http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html</a>
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	<a href="http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm">http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm</a>
円相場		

## 参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	<a href="http://www.meti.go.jp/statistics/index.html">http://www.meti.go.jp/statistics/index.html</a>
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	<a href="http://www.mof.go.jp/siryou.htm">http://www.mof.go.jp/siryou.htm</a>
国際収支		
機械受注	内閣府	<a href="http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html">http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html</a>
完全失業率	厚生労働省	<a href="http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html">http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html</a>
有効求人倍率		

**静岡県月例経済報告**  
平成28年8月号 通巻484号

発行 静岡県経済産業部  
平成28年8月

編集 経済産業部管理局政策監  
〒420-8601  
静岡市葵区追手町9-6  
TEL 054-221-2635  
FAX 054-221-3217  
E-mail [keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp)  
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>